

第32回測量調査技術発表会・特別講演 開催報告

第19回以来、久しぶりの単独開催となった第32回測量調査技術発表会は6月1日に新宿明治安田生命ホールで開催され、会員各社等による11編の技術発表と、日本大学理工学部社会交通工学科の佐田達典教授による特別講演が行われました。

特別講演終了後には発表パフォーマンスの審査により優秀発表賞3編が選ばれ、平成21年度優秀論文（会長賞、奨励賞）3編と共に表彰されました。

今回は測技協HPからの事前受付と来場管理により、

測量CPDの認定を受けた発表会として延べ207名の来場者を数えることができましたことをここにお礼申し上げます。

なお、平成21年度優秀論文は本誌に掲載されております。

開催日時：平成22年6月1日（火）9：50～16：00

場 所：新宿明治安田生命ホール

来場者数：計207名

事前受付99名、当日受付58名、他50名

プログラム

9：50～ 9：55			測技協 技術普及部会長 土谷 学		
9：55～10：00			測技協 技術委員長 島村 秀樹		
● レーザ計測					
1	10：00～10：20	冬期航空レーザ計測を用いた積雪深分布モデル及び融雪量算定モデルの作成	国際航業株式会社 本間 信一		
2	10：20～10：40	砂防レーザにおける回転翼レーザの有効性の検証	アジア航測株式会社 光安 利樹		
3	10：40～11：00	航空レーザ計測のためのレーザ照射シミュレーションの基礎研究	株式会社パスコ 小暮 利雄		
4	11：00～11：20	斜めレーザの利用実例紹介～茨城海岸の計測・解析～	朝日航洋株式会社 横溝 和則		
5	11：20～11：40	航空レーザ計測データを活用した災害対応の有効性と課題の検討	国際航業株式会社 藤 良太郎		
6	11：40～12：00	航空レーザ計測データを用いた荒廃地形判読手法	株式会社パスコ 鈴木 清敬		
12：00～13：00（休憩）					
● オルソ画像					
7	13：00～13：20	写真地図品質評価の自動化に向けて	朝日航洋株式会社 三浦 博之		
● GIS					
8	13：20～13：40	500mメッシュ単位の男女別5歳階級別の将来人口の推計方法	株式会社パスコ 星田 侑久		
● GPS					
9	13：40～14：00	GPSを利用した変位計測・監視サービス（Shamen-net）の開発と活用	国際航業株式会社 武智 国加		
10	14：00～14：20	高精度GPS移動計測装置モバイルマッピングシステム（MMS）を利用した道路計測手法について	アイサンテクノロジー株式会社 飯塚 修功		
● 標準化					
11	14：20～14：40	地理情報の国際標準（ISO）および国内規格（JPGIS・JIS）の動向	測技協GISセンター 羽鳥 友彦		
14：40～15：00（休憩）					
● 特別講演					
12	15：00～15：50	特別講演『測位のシームレス化の動向と測量分野での展開』	日本大学理工学部 社会交通工学科 教授 佐田 達典		
	15：50～15：55	優秀論文・優秀発表 表彰			
	15：55～16：00	総評と閉会挨拶	測技協 専務理事 井上 誠		



受付



会場

表彰者

●平成21年度優秀論文

会長賞

屋内外空間を統合的に扱う経路探索システムの提案 (株) パスコ 盛田 彰宏

奨励賞

ダイナミック測位座標管理システム (株) 日豊 伊藤 広和

ネットワーク空間上の空間的解析ツールの開発 (株) パスコ 佐藤 俊明

●第32回測量調査技術発表会優秀発表賞

斜めレーザの利用実例紹介 ～茨城海岸の計測・解析～ 朝日航洋 (株) 横溝 和則

航空レーザ計測データを活用した災害対応の有効性と課題の検討 国際航業 (株) 藤 良太郎

GPSを利用した変位計測・監視サービス (Shamen-net) の開発と活用 国際航業 (株) 武智 国加



表彰者



佐田達典教授 特別講演

入場無料 測量CPD/設計CPD ポイント対象

G空間EXPO 第2回日韓レーザ計測シンポジウム開催のお知らせ

2010年9月20日 (月・祝日) 9:30~17:00

パシフィコ横浜 ハーバーラウンジA

- レーザ計測技術の利活用に関する各国 (日本、韓国、ドイツ) の先進実例紹介と今後の技術動向
どなたでもご参加いただけます。(韓-日 逐次通訳あり)

測技協HPにて事前受付を行っています。

詳細は測技協HP <http://www.sokugikyo.or.jp>